

米軍再編の全体像

(沖縄)

(全国)

普天間飛行場の移設

代替の施設をキャンプ・シュワブ辺野古崎地区及びこれに隣接する水域に設置。KC-130を岩国へ移駐(2014年8月に完了)。

- ・在日米軍の航空機訓練移転を2006年度から実施。(千歳, 三沢, 百里, 小松, 築城, 新田原)
- ・2011年にグアム等への航空機訓練移転に合意。(2018年12月末まで訓練移転を93回実施(グアム等への移転を含む))
- ・普天間飛行場のオスプレイ等の訓練移転を2016年度から実施(2017年12月末までにグアム1回、国内(5回))。

在沖縄海兵隊の国外移転

約9000人(定員)の海兵隊員が沖縄から日本国外へ移転。
 ※沖縄における海兵隊の最終的なプレゼンスはロードマップの水準と一致。
 ※グアムにおける海兵隊は約5000人(定員)となる。

グアム移転のための施設・インフラ整備費
 全体費用: 86億ドル(米国政府による暫定的見積り)
 日本側負担: 2008年米会計年度ドルで28億ドル

横田飛行場

- ・空自航空総隊司令部の府中からの移転(2012年3月)
- ・CV-22オスプレイ5機配備(2018年10月)

キャンプ座間

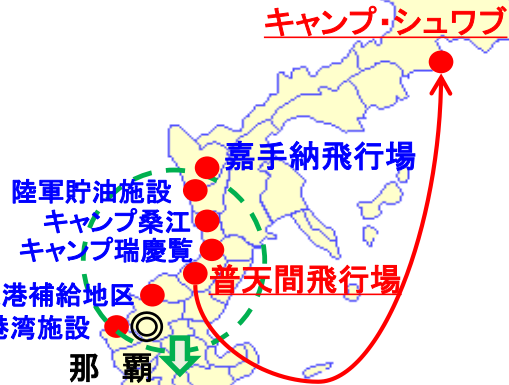
- ・在日米陸軍司令部の改編(2008米会計年度)
- ・陸自中央即応集団司令部の朝霞からの移転(2012年度)等

厚木飛行場



- ・空母艦載機の厚木から岩国への移駐の完了(2018年3月)
- ・恒久的訓練(FCLP)場の選定(馬毛島が検討対象)

岩国飛行場



嘉手納以南の土地の返還

※2013年4月に、嘉手納以南の土地の返還に関する統合計画を発表し、次の施設・区域の返還時期を明記。

- キャンプ桑江(全部)
- 牧港補給地区(全部)
- 普天間飛行場(全部)
- 那覇港湾施設(全部)
- 陸軍貯油施設第一桑江タンク・ファーム(全部)
- キャンプ瑞慶覧(一部)

※全体で東京ドーム220個分の面積